

(様式2-3-②-1)

2019 年度

(大 学 院 博 士 後 期 課 程 学 生 用)

推 薦 理 由 書

公益財団法人SGH財団

理事長 栗和田 榮一 殿

氏 名 (フリガナ)

国 籍

男

生年月日

年

月

日生

女

大 学 名 :

年

月

入 学

研究科

専攻

課程

年次 (2019年度)

推薦理由 (母国の専門学校から編入された留学生の場合、その専門学校の成績について推薦者の判断を併せて明記して下さい)

(①出願者の学力、②独創性、③将来性について具体的にご記入ください)

推薦者 (指導教員・学科主任等)

2019 年

月

日

所属機関

職 名

氏 名

印

2019 年度

(大 学 院 博 士 後 期 課 程 学 生 用)

学位取得の可能性について

(推薦理由書と合わせてご提出くださいますようお願い申し上げます。)

(1) あなたはこの申請者をいつからご存じですか？

(年 月 から 約 年 ヲ月)

(2) ご指導なさる立場から、この申請者をどう思われますか。

下記の設問について当てはまる記号に○をつけてください。

(A=はい B=どちらともいえない/わからない C=そうでもない)

- a. 自分の意見を進んで発表する (A B C)
- b. 指示がなくても自主的に課題を進める (A B C)
- c. 他者の意見も自由に聞き、必要なら積極的に採り入れる (A B C)

(3) 下記の質問に対し、線上の適当と思う位置に○印をつけてください。

a. この申請者は、予定の期間内に、博士号を取得できると思われますか。

非常にむずかしい

必ず取得できる

I-----I-----I-----I-----I

b. この申請者の研究が公表されると、当該学会でどの程度の評価が得られると思われますか。

非常に低い評価

非常に高い評価

I-----I-----I-----I-----I

c. この申請者は、将来国際交流の面で有為な人物となると思われますか。

非常にむずかしい

非常に確率が高い

I-----I-----I-----I-----I

推薦者 (指導教員・学科主任等)

2019 年 月 日

所属機関

職 名

氏 名

印